

## 10. 環境マネジメントシステム（ISO14001）について

亀山市は、平成14年3月25日に本庁舎・総合環境センターなど6施設でISO14001の認証を取得しました。

その後、平成16年3月25日の認証更新の際、登録範囲を消防庁舎・医療センター・小中学校など市の全ての施設（40施設）に拡大しました。

平成16年3月の登録範囲拡大の際、従来から行っている紙や電気などの使用量を削減する取り組みの他に、保育園・幼稚園・小中学校の環境教育推進、環境再生事業など市が市民や事業者の環境関連活動に大きな影響を及ぼす施策を推進し、管理（マネジメント）できるシステムに改善しました。

また、消防署では防火活動による火災発生時の環境負荷を低減し、医療センターでは医療廃棄物の徹底管理を図るというように、各部署の業務内容に則した環境保全活動をマネジメントするようにしました。

ISO14001というと、紙や電気の使用量を削減するような活動が目が行きがちですが、エコオフィス活動はそのワンステップと捉え、今後はより一層、市が市民等に及ぼす影響力を最大限に生かせるような環境関連施策の推進・管理を図っていきます。

### （1）エネルギー・廃棄物量の推移

職員の取り組みの成果が現れ、各項目とも概ね平成12年度よりも削減できています。

しかし、増加しているものもあります。（増加の原因は下記のとおり）

#### 【施設軽油使用量】

総合環境センターで行っている掘り起こし事業において、篩機（動力源：発電機）を使用していますが、事業量の増加に伴い、燃料使用量も増加しています。

#### 【重油使用量】

平成14年度は総合保健福祉センターができたことにより、一時的に使用量が増えましたが、平成15年度に衛生公苑での使用を止めたため、平成12年度並になりました。

#### 【廃棄物処理量】

年々廃棄物の処理量は増加しています。特に14年度は市外の廃棄物の受け入れが多かったため、一時的に増加しています。

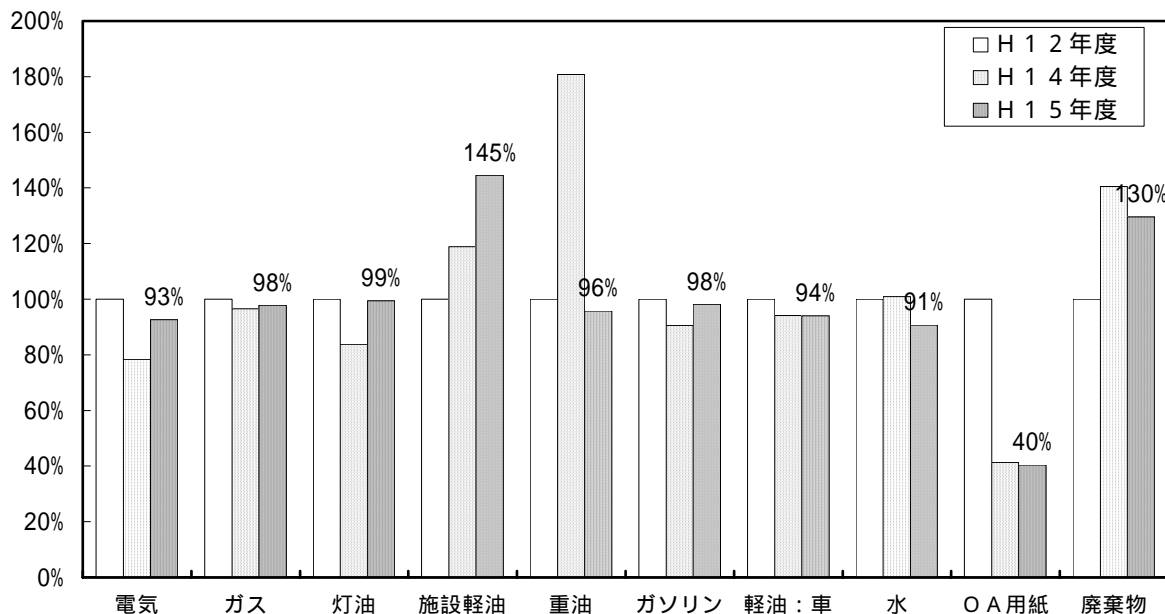


図10-1 年度別使用料比較表

このグラフは平成12年度を基準(100%)にして、その使用量の差を見るために作成したものです。

(2) 温室効果ガス排出量(CO<sub>2</sub>換算)

「2. エネルギー・廃棄物量の推移」で示したとおり、施設軽油の使用量、廃棄物の処理量の増加に伴い、温室効果ガス(CO<sub>2</sub>)の排出量も増加しています。

平成12年度CO<sub>2</sub>排出量: 13,986 t、平成15年度CO<sub>2</sub>排出量: 14,588 t (12年度比4.3%増)

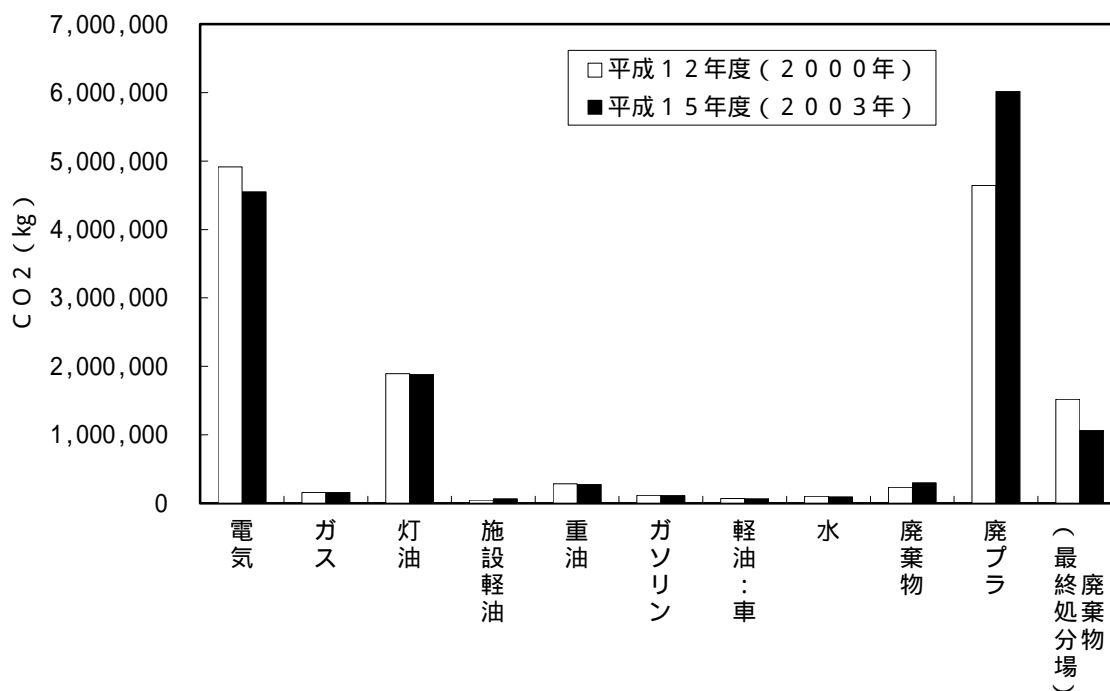


図10-2 項目別温室効果ガス排出量